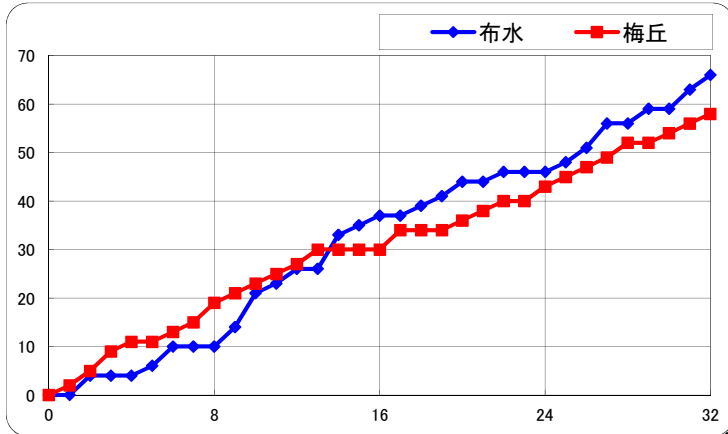




THE 44th ALL ALL JAPAN
Jr HIGH SCHOOL

大会名	平成26年度全国中学校体育大会 第44回 全国中学校バスケットボール大会																
会場	高松市総合体育館																
日時	平成26年8月23日(土) 10:50																
コート	TAコート	第2試合															
カテゴリー	男	予選リーグE															
主審	田中 光 (北海道)																
副審	山西 秀治 (香川)																
Team A		Team B															
布水	66	58 梅丘															
石川	○	東京 ●															
	<table border="1"> <tr><td>10</td><td>1st</td><td>19</td></tr> <tr><td>27</td><td>2nd</td><td>11</td></tr> <tr><td>9</td><td>3rd</td><td>13</td></tr> <tr><td>20</td><td>4th</td><td>15</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	10	1st	19	27	2nd	11	9	3rd	13	20	4th	15		OT		
10	1st	19															
27	2nd	11															
9	3rd	13															
20	4th	15															
	OT																

【得点経過】



【BOXスコア】

Team A		布水						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	中藪 柊	✓	1	0	0	1	0	
5	大倉 颯太	×	21	0	7	7	4	
6	北方 裕也	×	22	4	4	2	1	
7	中道 滉	DNP	0	0	0	0	0	
8	佐野 良也	DNP	0	0	0	0	0	
9	清水 宏記	×	6	0	2	2	1	
10	辻本 真都	×	6	0	3	0	3	
11	萩原 太郎	DNP	0	0	0	0	0	
12	橋本 一輝	×	10	2	2	0	0	
13	柿本 幸一	DNP	0	0	0	0	0	
14	吉田加偉斗	DNP	0	0	0	0	0	
15	小林 翔	DNP	0	0	0	0	0	
16	森島 瑞樹	✓	0	0	0	0	1	
17	高木 健生	DNP	0	0	0	0	0	
18	番場 望	DNP	0	0	0	0	0	
監督	小田原 誠						0	
コーチ	石過 祐樹						0	
合計			66	6	18	12	10	

Team B		梅丘						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	大島 岳晃	DNP	0	0	0	0	0	
5	井上宗一郎	×	23	0	11	1	1	
6	菅野 恵登	✓	9	1	3	0	4	
7	澤田 将影	✓	0	0	0	0	1	
8	相原アレクサンダー学	×	4	0	2	0	5	
9	八村 阿蓮	×	14	0	7	0	0	
10	塚本 舞生	×	8	2	1	0	0	
11	瀧 稜太	×	0	0	0	0	2	
12	高阪 康平	DNP	0	0	0	0	0	
13	至田 伊吹	DNP	0	0	0	0	0	
14	池上 千馬	DNP	0	0	0	0	0	
15	碓井 真吾	DNP	0	0	0	0	0	
16	浅見 晴	✓	0	0	0	0	0	
17	井上 蔵人	DNP	0	0	0	0	0	
18	山田 遥陽	DNP	0	0	0	0	0	
監督	染谷 久						0	
コーチ	山口 将広						0	
合計			58	3	24	1	13	

【戦評】

北信越ブロック代表布水と関東ブロック代表梅丘の一戦。布水はマンツーマンDef、梅丘は2-1-2ゾーンDefでスタート。梅丘は#5、#9の長身選手にゴール下で合わせて得点。布水も#6のミドルシュートや3Pなどで得点するも、梅丘19-10布水で1Q終了。2Q、1分に布水が#5、#6のスティールからの速攻で連続得点。梅丘21-16布水となったところで、梅丘がタイムアウト。その後、梅丘が#5のインサイドで得点を重ねる一方、布水は#10のゴール下や#5の得点で逆転し、布水33-30梅丘となった。2Qの6分、梅丘が2回目のタイムアウトを取る。その後も梅丘はインサイドにボールを集め攻撃するが、布水も必死でインサイドを守り、布水37-30梅丘で前半を終了。

3Q、両チームともにハーフコートマンツーマンDefでスタート。梅丘が#6のリバウンドシュートや#5のゴール下シュートと3点差まで詰める。しかし、布水もインサイドの激しい守りと#5のバスケットカウントなどで逆転を許さない。3Qに入り、梅丘がインサイドのポジション争いに疲れが出たのか、ゴール下のシュートの精度が下がった。一方、布水も#5にマッチアップする選手を交代するなど、ファール覚悟で必死に守る。4Q、梅丘が#9のゴール下シュートなどで1点差まで詰め寄るが、布水も#5のバスケットカウントで引き離す。4Q6分、梅丘はゾーンDefに切り替え、残り1分にはファールゲームを仕掛けるも、落ち着いてプレーした布水が66-58で勝利した。

【戦評記入者】

満嶋 吉伸